

会報 NO.12

令和2年12月31日発行
特定非営利活動法人なごや歴まちづくりの会 事務局
名古屋市中区槇木町3-58
contact@758rekimachi.net

理事会を開催

十二月二十一日(月)、令和二年度第三回理事会が開催されました。今年度の理事会は新型コロナウイルス感染症の影響のため、第一回(五月九日)、第二回(八月三十日)共にメール審議で開催されましたが、今回はZoom会議で開催されました。

1 審議事項

①令和三年度の事業方針について
令和三年度の事業方針については、「現時点では、新型コロナウイルス感染症流行の見透しが困難なため、検討・作成を保留する。」こととなりました。

2 報告事項

①令和二年度事業実施状況について
令和二年度事業計画については、新型コロナウイルス感染症拡大の恐れがあるため、第二回理事会(八月二十四日)においており変更の議決を得たところであるが、この事業計画変更後

の事業実施状況について報告がありました。

(1) 調査・研究・提言事業

①歴史的界限現況調査業務委託
中小田井一丁目界限において、歴史的まちづくりに向けた検討資料とするため、道路から建造物の現況調査を行い、集計、図化する調査です。現地調査は、十二月十三日(日)に実施されました。(契約期間 令和2年12月31日～令和三年3月25日)

②派遣体験発表会・講演会(受託事業)
オンラインによる実施について委託者と打ち合わせ中。

③登録地域建造物資産登録促進事業(受託事業)
所有者等とのヒアリングを必要とする事業であるため、今年度は実施しないこととなりました。

④事業計画に計上した事業以外に、(公財)名古屋まちづくり公社から次の調査を受託しました。
(ア)丹羽家既存不適格建築物確認調査委託
名古屋有形文化財指定である丹羽家の今後の保存・活用にあたり必要となる既存不適格建築物に関する調査です。(契約期間 平成二年七月十三日～八月三十一日)

(イ)登録地域建造物資産現況調査業務委託
所有者の事情により取り壊される

こととなった鳴海歴史的界限にある登録地域建造物資産について現況調査を行いました。(契約期間 令和二年八月十八日～十一月三十一日)

(2) 学習・啓発事業

①文化財保存修理の技術、方法論講義(フオローアップ委員会)
事業は延期中。

②国登録有形文化財を使用したテールウェアコーディネート企画(自主企画事業)
リモートでの講座開催、YouTubeでの録画配信も含めて検討することとしているが事業は延期中。

③パネルの展示・絵地図の販売(学術委員会)
事業は延期中。

④文化財修復現場勉強会(日本建築家協会との共催事業)
リモートでの講座開催YouTubeでの録画配信も含めて検討することとしているが事業は延期中。

⑤他の団体との共同活動事業
①鳴海地区講演会・ワークショップ(愛知建築士会・建造物登録委員会)講演会・ワークショップは中止し、スマホアプリ「Google フォト」を利用した企画、「気になる歴史的建造物写真集づくり」チラシ投函の前情報を集めることとしているが事業は延期中。

(4) その他の事業

①歴史まちづくり意識調査アンケート(事務局企画事業)
歴まちの会 会員+(回答可能な)学生を対象とした調査を検討中。

②委員会活動(見学委員会)
現地見学による京都府銭湯の学習は中止する。集会による委員会開催は極力避け、メール交換やオンライン会議などを活用し委員会活動を行うよう努める。

③委員会活動(学術委員会)
屋根様現地調査・図面・パネル作成事業は延期する。新型コロナウイルス沈静化した時点で活動を再開する。集会による委員会開催は極力避け、メール交換やオンライン会議などを活用し委員会活動を行うよう努める。

④委員会活動(フオローアップ委員会)
集会による委員会開催は極力避け、メール交換やオンライン会議などを活用し委員会活動を行うよう努める。Zoom 会議により委員会を開催している。

⑤委員会活動(建造物登録委員会)
集会による委員会開催は極力避け、メール交換やオンライン会議などを活用し委員会活動を行うよう努める。Zoom 会議により委員会を開催している。

(5) 事務局報告

①総会の開催

令和二年度通常総会は、新型コロナウイルス

ウイルス感染症防止のため、下記の方法で開催した。

(ア) 通常総会の開催方法

四月十五日(水) 会員あて、通常総会の審議事項及び表決をメール方式で行うことを通知した。

(イ) 審議事項

第一号議案 令和元年度事業報告・決算報告

第二号議案 令和2年度事業計画

(案)・活動予算(案)

(ウ) 審議経過

議案の送付

五月十二日(月) 議案を各会員あて配信

(エ) 賛否の意思表示

五月十六日(土)までに会員の意見

回答、

(オ) 通常総会の開催

五月二十一日(木) 理事長・副理事長・専務理事により理事会(オンライン会議)を開催。議長には理事長加藤昌之を、議事録署名人には副理事長野口和樹、専務理事野田展葛を、議事録作成人には野田展葛を選任した。

(カ) 通常総会成立確認

正会員数九十三名、出席者五十六名(出席者三名、電磁的記録による表決者・委任者五十三名)で成立。

(キ) 結果

第一号議案、第二号議案とも全員賛成で可決された。

②理事会の開催

(A) 令和二年度第一回理事会

新型コロナウイルス感染症防止のため総会の手続きに準じてメール審議で行った。

(ア)

理事会の開催

五月九日(土)オンライン会議で開催 出席者三名、電磁的記録による表決者九名

(イ) 審議事項

○受託事業の実施について

○総会に付すべき事項

○総会の開催方法について

(ウ) 結果

全員賛成又は賛成多数で議決された。

(B) 令和二年度第二回理事会

新型コロナウイルス感染症防止のため第一回理事会と同様の方法で開催された。

(ア) 理事会の開催

八月三十日(日)オンライン会議で開催 出席者三名、電磁的記録による表決者九名

(イ) 審議事項

○新型コロナウイルス感染症拡大に伴う事業計画の変更について

(ウ) 結果

全員賛成で可決された。

③事務局会議の開催

次のとおり事務局会議を開催した。第一回(メール審議・四月九日内容確定)

第二回(メール審議六月二十八日内容確定)

第三回(メール審議・七月二十一日内容確定)

第四回(メール審議・八月三十日内容確定)

第五回(ズーム会議・九月二十八日)

第六回(ズーム会議・十月二十六日)

(月)

第七回(ズーム会議・十一月二十五日)

(水)

第八回(ズーム会議・十二月十六日)

(水)

第九回(ズーム会議・十二月十六日)

(水)

④会報の発行

第八号(4月三十日)、第九号(六月三十日)、第十号(八月三十一日)、第十一号(十月三十一日)を発行した。

中小田井歴史的界限現地調査を実施

十二月十三日(日)、中小田井一丁目界限において歴史的界限現地調査が実施されました。この調査は、(公財)名古屋まちづくり公社の委託による調査で、会員十二名が参加しました。

受託業務スタッフは、会員どなた

でも参加できます。歴史的建造物の見

学やまちあるきは、とても楽しいもの

です。参加経験のない会員の皆様も、

今後受託業務スタッフとしてぜひご

参加ください。

(写真は十二月十三日 中小田井願

王寺前)



事務局だより

新型コロナウイルス感染症の流行が収まらず、今年度の事業計画も大幅な縮小を余儀なくされていきます。このような中、月例事務局会議も9月からはZoom会議で実施することができました。新型コロナウイルスは、厳寒期を迎えて収まるどころかますます流行の兆しを見せています。皆様、お体には十分気を付けて新年をお迎えください。